

受験番号

氏名

「建築計画」は問1～問3までの全3問です。試験問題は1ページあります。それぞれの設問の問題文をよく読み、指示に従って解答してください。他の科目と同じ解答用紙には解答しないでください。解答用紙には解答した問番号がわかるように、解答用紙に記入してください。採点時に問番号がわからない解答は0点となります。

<模範回答（採点ポイント）>

問1 解答用紙1枚目を使用

建築計画一般について、以下の問いに答えなさい。

- (1) パーソナルスペースにおいて、人との関係性によって変化する距離感覚にはどのようなものがあるか、種類とその意味を説明しなさい。

<採点ポイント>

- ・パーソナルスペース：・他人が自分に近づいても不快に感じない心理的な距離
- ・密接距離：極めて親しい関係性で許される距離範囲
- ・個人距離：互いに表情が読み取れ手を伸ばせば触れられる距離で友人や親しい同僚との距離範囲
- ・社会距離：仕事の会議や打ち合わせなどビジネスシーンでよく使われる距離範囲
- ・公衆距離：相手の顔や表情がよく見えない、個人的なやりとりはできない他人との距離範囲
- ・個人差がある、満員電車など状況により変化、侵されると不快に感じる他

- (2) 空間計画におけるソシオペタルとソシオフーガルについて、それぞれが定義する人の行動を説明しなさい。

<採点ポイント>

- ・ソシオペタル：向かい合ってコミュニケーションがとりやすい状態の型
- ・ソシオフーガル：互いに干渉することがない状態の型
- ・ハンフリー・オズモンドが自身の観察から提唱

- (3) 大学図書館の空間計画において、上記のパーソナルスペースやソシオペタル／ソシオフーガルの概念を踏まえた際に、座席配置や動線計画で工夫すべき点を具体的に論じなさい。

<採点ポイント>

- ・各理論を理解し、具体的に空間計画へ反映されている
- ・座席配置（個人席・グループ席）や動線計画（ゾーニング・視線・距離）など配慮がなされている
- ・工夫すべき点が大学図書館の利用者行動や目的に即している
- ・単なる理論の説明にとどまらず、工夫や改善が具体的かつ論理的に述べられている。

受験番号

氏名

問2 解答用紙2枚目を使用

都市と建築について、以下の問いに答えなさい。

(1) 都市のコンパクトシティ化とは何か、その背景や問題認識を含めて説明しなさい。

<採点ポイント>

- ・都市の過度な拡散（スプロール化）による都市効率の低下、都市のスポンジ化、他
- ・居住・商業・公共施設などの主要な都市機能を交通利便性の高い中心部に集約

(2) コンパクトシティを具現化するために、立地適正化計画ではどのような制度設計がなされているか説明しなさい。

<採点ポイント>

- ・居住誘導区域と都市機能誘導区域を指定することで公共サービス提供効率を向上
- ・居住誘導区域：住宅や施設の集約を促す区域
- ・都市機能誘導区域：医療・福祉・商業施設など都市機能の集約を促す区域
- ・居住誘導区域外での新規住宅開発の抑制、空き家活用や再開発の促進
- ・バスや鉄道など公共交通ネットワークと連動させた居住誘導策

(3) 近年、北九州市が取り組んだコンパクトシティ化を意図した都市計画の一例である「逆線引き」とは何か説明しなさい。

<採点ポイント>

- ・都市計画における市街化区域を市街化調整区域に変更
- ・従来の都市開発を促進するための線引きとは反対の動きであるためそのように命名
- ・北九州市で斜面地エリアを対象に逆線引きに取り組むも財産権の毀損など現実的な難しさに直面

受験番号

氏名

問3 解答用紙3枚目を使用

既存建築物の利活用について、下記の情報を得た集合住宅に関して以下の問いに答えなさい。

- ・北九州市戸畑区内にて、1970年代に建てられた5階建てRC造の賃貸集合住宅。
- ・住戸数は20戸（55平米/戸、3DKタイプ）、階段室型でエレベーターの設置無し。
- ・空室率は40%、特に上層階の空室が目立つ。居住者の半数は高齢者の夫婦、もしくは高齢者の一人暮らし。
- ・家賃は45,000円/戸～55,000円/戸（共益費等含む）。駐車場20台で6,000円/台。
- ・第一種住居地域、最寄り駅である戸畑駅から徒歩20分、他の公共交通手段は特段なし。

※その他は必要に応じて仮定してもよい。

- (1) 空室率が目立つこの集合住宅の利活用を構想する際に、上記の情報の他に、どのような情報の取得が求められるか、できるだけあげなさい。

<採点のポイント>

- ・基本情報（所有者、建物の所在等、登記簿、設計図書等）
- ・物的情報（構造・設備を含む建物の老朽度合い、雨漏り・水回り、居室内状況等）
- ・法的情報（旧耐震による既存不適格の度合い、増改築履歴）
- ・利用情報（利用実態、利用状況の経年変化、価格変化、管理運営状況等）
- ・周辺環境情報（生活利便施設他との位置関係等）
- ・広報情報（賃貸広報の現状と競合との比較等）

- (2) 上記の情報の段階で、この賃貸集合住宅で新たに想定され得る使い道や機能、用途を現実性も加味した上で具体的かつ論理的に提案しなさい。

<採点のポイント>

- ・費用対効果、実現可能性などを加味した上で、無理のない想定であること
- ・新規性や創造性を持ち、高付加価値で競争力が高いこと
- ・具体的であり、知識や技術に裏打ちされており、論理的で説得力を有していること

- (3) 現在、上記に類似した条件を持つ「公営住宅」が全国的に散見されており、公営住宅が持つ社会福祉的な役割の維持が危ぶまれている。このような公営住宅を取り巻く問題に対して、住宅政策としてどのような対策が求められるか、実現可能性を加味した上で論じなさい。

<採点のポイント>

- ・建物設備・構造他の老朽化、住環境の陳腐化、管理コストアップ、経済性・運営効率、居住者の高齢化・孤立化、自治活動の持続性、コミュニティの希薄化、ニーズ（低所得者）の多様化、入居基準制度、民営との棲み分け、入居基準公民連携の限界など、課題の本質に向かうアプローチへの理解
- ・費用対効果、実現可能性などを加味した上で、無理のない対策であること
- ・新規性や創造性を持ち、社会福祉や地域生活全般に関して有効な対策であること
- ・具体的であり、知識や技術に裏打ちされており、論理的で説得力を有していること